



説教要旨「挫折を知るあなただから」

出エジプト記 3章 1～12節

出エジプト記に登場するモーセは、奴隷状態だったイスラエルの民を、エジプトから導き出した指導者です。モーセは若かった頃、同胞であるイスラエルの民がエジプト人に虐待されているのを見て、その同胞を救うためエジプト人を撃ち殺しました。けれどもイスラエルの人々はモーセを拒絶したのです。孤立したモーセは、犯罪者としてエジプト人からも追われる身となり、エジプトを逃げ出してミディアンの地に身を寄せることになりました。そして、逃亡先のミディアンの地で結婚して家庭を持ち、子どもも生まれ、そこそこに安定した生活を送るようになっていました。モーセが80歳になった頃、もはや自分がイスラエルの民の一員であることなど忘れていたかも知れません。そのようなモーセに、ある日突然神様が語りかけたのがこの場面です。

80歳のモーセには若いときのような体力はありません。人々を説得できるような雄弁さも持ち合わせていません。イスラエルの一員として生きてきたという誇りもないのです。けれども神様は、この何も持っていないモーセを必要とされているのです。神様は最初からモーセになんの能力も求めていないのです。なぜなら神様が共にいて下さるからです。神様が共にいて下さるなら、他には何も必要ないのです。むしろ、何かしらを持っていたならば、それは神様の働きの邪魔にしかならないのかもしれないかもしれません。挫折して、自分にはなんの力もないことを深く知っているモーセだからこそ、神様は選び出されたのです。

神様は洩るモーセに対して、「わたしは必ずあなたと共にいる」と告げられます。神様が共にいて下さることは、マタイによる福音書の第1章にも語られている『インマヌエル』の恵みです。イエス様がこの世に来て下さったことによって、この「インマヌエル」の恵みの実現したのだと聖書は告げています。

イエス・キリストによって私たちの現実となったインマヌエル、「わたしは必ずあなたと共にいる」と約束して下さった恵みの中で、わたしたちも、神様のみ業のために用いられていくのです。

(2022・11・13 説教者：稲垣真実)